岡山県津山市 & 早稲田大学
地域連携ワークショップ 2020

地域連携ワークショップとは

まちづくり、地域ブランド、移住定住、観光・・・・自治体が抱える課題の解決策を、学生チームが提案する実践型のワークショップです。学部・学年を超えて集まった学生同士が議論しながら仮説を立て、自治体関係者や住民の方々へのヒアリングなどを通して提案につなげます。地域の魅力を知り、課題を深く考え、仲間と協働することは成長の機会になります。

おススメのポイント！

●行政だけじゃない、民間だけじゃない。公共空間のリノベーションを通して持続可能なまちづくりを考えることができます。
●市長や地域住民の方々に、オンラインで直接インタビューする貴重な機会があります！
●グローバルエデュケーションセンター実践型教育プログラム「地域連携実践コース」のプログラムです。
●津山市発の特産品等の体験で、自宅にいながら津山の魅力を感じられます。

テーマ

公共空間のリノベーション
～公民連携による公共空間の魅力と収益性向上にむけて～

津山市では、全国の地方自治体が抱える課題の１つである、公共空間（庁舎や学校、文化施設、集会所のほか、公園や文化財など）の利活用に頭を悩ませています。

市では約 600 の公共施設を保有していますが、公共性や公益性を重視し、収益性が考慮されていないため、大多数が赤字運営です。公園などの屋外施設は、財政難から整備が行き届かず、閑散とした光景が広がっています。また、城下町として栄えた津山市には史跡や文化財が数多くありますが、歴史的な景観は観光スポットとなる一方、多くは保全が第１目的になっており、維持管理費が収入を大きく上回っています。さらに、学校では、子供の減少により空き教室が増えており、今後の社会環境の変化を考慮すると、これらの公共施設や空間の運営状況はさらに悪化すると考えられます。

こうした状況を打破するためには、『稼ぐ公共空間』への転換が必要であり、市では、新しい空間価値の創出や収益性向上を目的に、「公民連携」による公共空間のリノベーションを積極的に推進しているところです。

本ワークショップでは、この取組をさらに推進するために、オンラインフィールドワーク（公共施設を含む市内各所の見学や市民との交流）を通じて、サスティナブルなまちづくりにつながるような様々な公共空間のリノベーションプランの提案を期待しています。

津山市の魅力

岡山県北東部に位置し旧美作国誕生から 1300 年以上、地域の交通の要衝として、また、政治・経済・文化の中心地として栄えてきました。教育機関や医療機関が集積し都市機能を有する一方、郊外には山林や農地などの田園風景が広がります。宮大工の技術で組み上げた反りの発生しない家具・建具や金属加工技術による精密加工製品、縫製技術を活かした衣類・服飾雑貨、津山藩への献上品として続く和菓子や工芸品など、地域産材や技術を活かした高品質な製品やそれらを製造する魅力ある企業が多く存在しています。また、古くから牛馬の流通が盛んな土地として長い肉食文化をもち、「牛肉の聖地」とも称されています。

募集概要

募集期間	2020年12月7日（月）～12月18日（金）17：00 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず）
活動期間	2021年1月15日（金）～2021年3月18日（木）
応募条件	**全ての公式日程への参加が可能なこと**
募集人数	5名程度
応募方法 選考方法	以下の手順もしくは右のQRコードのリンク先から申請してください。 ① MyWASEDAにログイン。 ② お知らせ一覧から「地域連携ワークショップ2020春編」を検索。 ③ 「地域連携ワークショップ2020春編応募フォーム」から「申請」をクリック。 ④ 必要事項（志望理由400字程度）を入力して申請。
選考方法	書類選考結果通知は、**2020年12月23日（水）17:00までにWasedaメールにて通知**します。 ※オンライン面接を実施することがあります。その際は書類選考合格者に別途案内します。
注意事項	① 当ワークショップは一般授業とは扱いが異なります。成績評価・単位認定等はありません。 ② オンラインでミーティングやインタビューを実施する際に必要な端末の購入費、通信費などは参加者による自己負担です。 ③ 募集要項に記載されている日程以外にも、自主的にミーティングやグループワークを実施する機会が多く、期間中は当ワークショップの活動が中心となるよう、スケジュール管理はくれぐれも注意してください。 ④ ワークショップ実施日と重複する授業等を欠席した場合、**公欠扱いとはなりません。** ⑤ ワークショップ参加にあたっては「公共の場所では参加しない」「ヘッドセットなどを装着する」など、第三者に実習内容を知られることがないよう措置を講じてください。 ⑥ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。 ⑦ **地域連携ワークショップは、グローバルエデュケーションセンター実践型教育プログラム「地域連携実践コース」の対象プログラムです。**
問合せ先	教務部教育連携課（rbso@list.waseda.jp） ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

実施の流れ ※当ワークショップは原則として、web会議システムZoomなどを用いたオンラインによる実施となります。

- オリエンテーション：自治体の方から課題（テーマ）やその背景を聞く
  ↓
- 事前調査：課題に対する仮説設定。提案の方向性をまとめる
  どのような方にインタビューしたいのか、どのような質問をしたいのかリスト化
  ↓
- インタビュー：自治体関係者、地域住民へのオンラインインタビュー
  ↓
- 最終提案資料作成：
  インタビュー結果を踏まえ、仮説を検証し、最終提案資料をまとめる
  ↓
- 最終報告会：自治体関係者、地域住民を前にプレゼンテーション

学生同士で時間を決めZoom、SNS等を用いて議論を進める

ワークショップスケジュール

	予 定	日 程	内 容
①	オリエンテーション （Zoom）	2021 年 1月１５日（金） 13:00～15:00	・参加者顔合わせ ・自治体担当者からの説明 ・課題および課題設定に至った背景の説明 ・今後のスケジュール確認 ・事前調査課題の説明
②	事前準備・ 事前調査期間	1月１８日（月）～ 2月５日（金）	・事前調査を行い、課題に対する仮説を立てる ・現地のインタビュー希望先（個人、団体、企業など）を検討 ※２月５日までにインタビュー希望先のリストを自治体に提出
③	現状報告 （Zoom）	2月上旬（予定）	・現在までの議論の状況、今後の活動計画を大学職員等に報告します。 ※日程はワークショップ開始後、調整予定です。
④	現地の方々への インタビュー① （Zoom）	2月8日（月）～ 2月 19 日（金）	・事前調査で検討した仮説に対する検証を行う ※インタビュー先のご都合に応じて実施時間は流動的となるため、左記の日程はスケジュールを空けておくようにしてください。
⑤	市長へのインタビュー （Zoom）	2月 17 日（水） 10:00～11:00	・津山市長へのインタビュー
⑥	中間報告会 （Zoom）	2月 25 日（木） 15:00～17:00	・インタビュー、懇談・ヒアリングをふまえた提案内容の報告 ※自治体担当者、大学職員が参加予定
⑦	現地の方々への インタビュー② （Zoom）	2月 26 日（金）～ 3月５日（金）	・中間報告会での指摘を踏まえ、再度仮説を検証するための追加のインタビューを行う
⑧	最終報告会準備	2月 25 日（木） ～3月 17 日（水）	・中間報告会でのフィードバック等をふまえた提案のブラッシュアップ
⑨	最終報告会 （Zoom）	3月 18 日（木） 10:00～12:00	・津山市長、自治体関係者、地域住民の方々に向けて提案を発表 ※最終報告会終了後、振り返り会を実施予定

※上記以外の日程は、必要に応じて参加学生同士で相談し、自主的にオンラインでの会議等のスケジュールを決め、ワークショップを進めていきます。